



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年水無月1日

第5号

校長 矢野 晴一

学校教育目標：「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

「子どもたちのことを心から尊敬します！」 修学旅行中止の決断

3年生の子どもたちがまだ2年生であった1月13日、合同帰りの会を開いて、緊急事態宣言の発令および感染症拡大状況を鑑みて、「年度内の修学旅行の実施を見送る」と決断したことを子どもたちに伝えました。あのとき、子どもたちにどのように伝えたらいいのか考えても考えてもわからずに悩んだこと、そして、話を聴いてくれた子どもたちの真剣なまなざしを、一生忘れないと思います。

あれから4か月、内容を変更し準備を進めてきましたが、行き先である広島にも緊急事態宣言が発令され、私たちの願いとは逆に感染は広がりを見せています。

楽しみにしていた子どもたちの気持ちを考えると、いたたまれない気持ちになりますが、「宿泊をとまなう修学旅行を実施することはできない」と、中止を決断しました。

5月17日（月）、合同帰りの会で、子どもたちに「修学旅行を断念する」と決断したことを伝えました。

子どもたちから不満や苛立ちの声は一切なく、全員が姿勢を正し、静かに私の話を聴き、真剣に受けとめてくれました。

「なんとすごい子どもたちなんだ！」・・・子どもたちなりに懸命に考えてくれているのを感じたとき、私は心が震えるのを感じました。そんな大原中の子どもたちのことを、心から尊敬します。心の底から愛しく思います。

これから、時期、内容、そして感染の状況をにらみながら、「何ができるか」を考え、知恵を出し合って、全力で子どもたちの「思い出づくり」のための場をつくりたいと思います。

保護者のみなさま、地域のみなさま、なにとぞ応援をよろしくお願いいたします。

立ち上げられ 幾度も壁を 乗り越える
仲間とともに 道をさがして
晴一

「大原中学校 人権宣言」 ～ 「人権を考える日」の取組 ～

5月21日（金）、全校で「**人権を考える日**」の学習を行いました。

3年生は、これまで学習を進めてきて修学旅行で学びを深める予定であった「**ヒロシマ**」について学習しました。

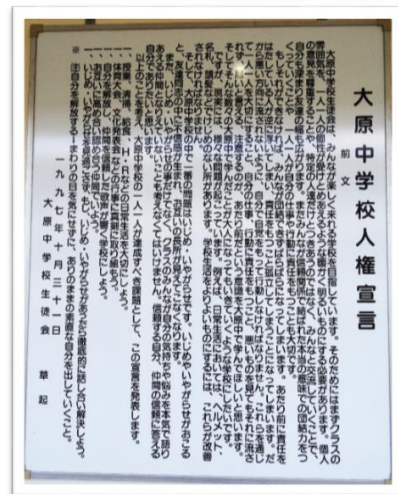
2年生は、私たちの日常にある固定されがちな「**先入観やイメージ**」について考える学習を行いました。

そして、入学して間もない1年生は、「**大原中学校人権宣言**」について学習しました。この宣言は、生徒総会議案書にも掲載してあり、脈々と本校の文化の柱として受け継がれてきているもので、子どもたちも職員も常に心に刻みながら日々の生活を送っています。

宣言には、「**1997年(平成9年)10月31日 大原中学校生徒会**」と記してあります。

今から20年以上前に学校生活を送っていた先輩たちが、当時の「いじめ」の問題に正面から向き合い、徹底的に意見を出し合いながら話し合いを重ねてできたものです。自分たちの問題に真剣に向き合い、自分たちで考えぬいた宣言にある五つの「めざす姿」は、すべて特別なことではなく、授業、清掃、合唱、行事等を通して「**日常における集団のあい方**」を問うものです。

これからも、「**大原中の人権文化**」を受け継いでいくとともに、今の自分の姿をみつめ、学級集団、学年集団の姿がこの願いに応えるものであるかを常に問いながら、かけがえのない仲間とともに力を合わせて歩みを進めていかなければならないと決意を新たにしました。



「少しずつ! 少しずつ!」 ～ ICTの活用状況 ～



本年度から、「課題解決を通じた主体性・創造性の育成」「臨時休校措置等に対する学びの保障」を目的として、生徒全員が一人一台のタブレットを手にするようになりました。4月に行いました授業参観での体験活動を経て、本校でも少しずつ活用の場面を増やしております。

各授業においても、「**何ができるか**」を模索しながら視覚的に活用したい。**比較・検討の場を設定したい**しながら取り組んでおります。

子どもたちの活動を支えるために、職員も技能を高める研修を懸命に行っております。

これから、持ち帰りや家庭での体験等の場を設定してまいります。新しい取組のため、心配な点もございりますが、子どもたちの学びを支えるためにどうぞご理解。ご支援をお願いいたします。

「ようこそ先輩!」 教育実習の先生方、日々奮闘中です



5月17日(月)から教育実習の先生方が日々奮闘していらっしゃいます。

本年度は、**田中理子先生(家庭科)**、**重松 樹先生(国語科)**、**井上まお先生(養護)**、**岡田英弓先生(養護)**の4名の先生をお迎えしています。

短い期間ですが、授業をはじめ、保健室での対応、検温や健康観察のお手伝い等、学校生活全般において、一生懸命に子どもたちとともに過ごしていただいています。

毎日の授業、朝の会、給食、清掃、帰りの会、部活動だけでなく、**毎朝、陸上の練習に参加してくれたり、校門でのあいさつ運動に来てくれたり**と、実習の日々を充実させるために、積極的に取り組んである姿をみて、私たち自身も学ぶべき点が多くあったように感じることができました。

すてきな先生になれるよう、心から応援しています。

小さいけれど大きな感動 その5 本年度のブロック色決定

5月14日(金)、お昼休みに本年度のブロック色決定抽選会が行われました。本来ならば、体育館に全員集まって行われていた会ですが、それがかなわない今は、大原中独自の形である中庭をはさむペランダで行っています。

体育大会や文化発表会を行うことができるのか、大きな不安の中ですが、昨年度同様「できることを信じて」、今できることを見出して、一つ一つ工夫しながら行っています。

学校便り4号で紹介しました2年生のリーダーたちの奮闘により、抽選会は盛大に行われました。

結果、**1組…黄色ブロック** **2組…青ブロック** **3組…赤ブロック**となりました。

これから、体育大会や文化発表会に向けて、また、日常の学校生活の充実をめざしてのブロック活動に向けて気持ちを高めることができました。制限されることが多い中で、「**できることを信じて**」、一つ一つの活動に懸命に取り組む子どもたちの姿にはいつも感動を覚えます。

